

科目名	子ども家庭支援の心理学			担当教員	大西 薫、大西 薫
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	看護師。				
実務経験を生かした授業内容	乳児健診・小児科/産婦人科勤務の経験を活かし、子どもの発育・発達の特徴や精神保健について講義を行う。				
到達目標及びテーマ	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識に基づいて、初期経験の重要性、発達について理解する。②家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得できる。③子育て家庭を巡る現代の社会的状況と課題を理解する。④子どもの精神保健とその課題について理解できる。				
授業の概要	ヒトは生涯にわたり発達することを理解し、人が生きる社会や家族・家庭の意義や役割、子育て家庭を取り巻く状況や、多様な家庭の理解、子どもの精神保健について理解を深め、保育との関連を考えていく。子育て支援を多面的に実践するための1つの知識として、心理学的側面から学修を行う。 【デジタル技術利用 該当番号：⑥】				

授業計画	
第1回	ガイダンス 生涯発達：発達とは何か？講義内容の説明・評価方法の確認・事前学習に関する注意を行った後、発達に関する講義を行う。
第2回	生涯発達 乳児期の発達：発達段階と発達課題についてと乳児期の発達の特徴を理解する。
第3回	生涯発達 幼児期の発達：幼児期の発達の特徴を理解する。
第4回	生涯発達 学童期の発達：学童期の発達の特徴を理解する。
第5回	生涯発達 青年期の発達：青年期の発達の特徴を理解する。
第6回	生涯発達 成人期の発達：成人期の発達を理解する。
第7回	生涯発達 老年期の発達：老年期の発達の特徴を理解する。
第8回	家族・家庭の意義と機能：家族とは何か？現在の家族の特徴を心理学的側面から理解する。
第9回	親子関係・家族関係の理解：乳幼児期から青年期、成人期、老年期に至るまでの親子関係を踏まえ理解する。
第10回	キャリア発達・子育ての経験と親としての育ち：キャリア発達の概念から自らのキャリア形成について考えることができる。また、子育ての経験を成人期の発達の特徴を踏まえ、理解する。
第11回	子育てを取り巻く社会状況と子育て：地域子育て支援センター「くれまちず」や仕事と家庭、子育てについて理解する。
第12回	多様な家庭や家族の理解：特別な配慮を要する家庭など、様々な家族（夫婦、夫夫、妻妻などのカップル）のかたちを踏まえ、事例に基づきながら考え、理解する。
第13回	子どもの生活・育成環境とその影響：子どもの発達に影響を与える要因を理解した上で、育成環境の重要性を学ぶ。
第14回	子どもの心の健康と病気：子どもの心に関わる問題や子ども心の病気、習癖について理解する。
第15回	まとめ 全講義を通したまとめを行い、保育者として子どもの育ちやその家庭を支援することについて理解を深める。

事前学修		授業に関連した統計資料や論文、新聞記事などを提示・配布するので、事前に読んで授業に臨むこと。
事後学修		配布する資料やプリントを見直し講義内容の理解を深めること。
フィードバックの方法	授業時間内に小レポートを実施し、授業期間内に返却する。現在の学修課題が分かるようにフィードバックを行い、授業内容の理解を深める。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	70%	保育者として必要な知識、理解に基づた記述ができていることを定期試験で確認する。

レポート	15%	授業内で提示するレポートの基準を満たすこと。
上記以外の試験・平常点評価	15%	期限内に小テスト（CBT）を受験し、正しい知識を学修できること。
補足事項	教科書は指定しませんが、授業内で必要な資料を配布するので、毎時間持参し、授業に臨むこと。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
参考資料	保育所保育指針			